

職能開発科だより

平成29年11月10日発行

校長 岩瀬 昌保

職能開発科主幹 安田 賢

枯葉舞い散る季節となりました。さて、1年生は9日（木）の就業体験3日目終了し、13日（月）に就業体験4日目を実施いたします。各業種の仕事内容や職場環境を、体験を通して学びます。今回は第1回の就業体験の業種とも比較しながら、保護者とともに自分自身の進路を考える機会にしてください。集合場所への道のりが不安なようでしたら、再度確認をしていただきますようお願いいたします。

■職能開発科で大切にしていること

職能開発科の生徒として、以下の3点を大切にしてい日々の指導や実習を進めています。生徒手帳にも記載されていますので御覧ください。

挨拶 挨拶からすべてが始まる。

感謝 感謝の気持ちを忘れずにいる。

敬意 相手を敬う。



生徒たちは現場実習やパートナーシップ実習を含め、多くの企業様の御協力をいただいて充実した学習を展開することができています。その話題に触れ、生徒と『感謝』について話をいたしました。

先日、生徒に『企業担当者は実習のとき、皆さんをどんな気持ちで迎えてくれているのだろうか？』と質問を投げかけてみました。生徒からは『(実習生が) 仕事をしてくれるか』『期待感』『企業担当者も不安があるのでは？』と次々に答えが返ってきました。改めて相手の立場に立って考えたときに、生徒たちに何か気付きがあったようです。



パートナーシップ実習においてはどの企業様も試行的に進めていく中で、生徒の一生懸命に取り組む姿勢や努力する姿を見てパートナーシップを築いてくださり、ここまで拡大することができているのだと思います。今一度、受け入れてくださるのが当たり前ではないことを認識し、一つ一つの実習の機会を大切にしてください。

11月は6社とのパートナーシップ実習が組まれています。今までどおり『感謝』、感謝の気持ちを忘れずに実習に臨んでください。引き続き、保護者の御支援をお願いいたします。

【お知らせ】

予定どおり21日（火）同日に『2年生向け修学旅行保護者会』、『Ⅱ期現場実習報告会』を実施いたしますので、御参加くださいますようお願いいたします。

【経営企画室からのお知らせ】

マイナンバー関係書類の提出は11月24日（金）締切です。不明な点は、経営企画室 荒井・田中へ御連絡ください。【電話】03-3471-9191

■ 1年移動教室報告 <高橋 早苗>

10月25日(水)から、三浦・鎌倉方面へ移動教室に行ってきました。盛りだくさんの2泊3日を御報告します。

【1日目】

小雨がちらつく1日目、時間どおりに品川駅に全員集合し、忘れ物もなくスムーズに出発しました。公共交通機関を利用するこの移動教室では、「時間どおり」に行動できることが肝となります。3日間を通して、常に余裕をもって集合でき、一本早い電車・バスに乗れることがしばしばありました。各自の自覚ある行動には、終始、助けられました。

初めに向かったのは「花王株式会社川崎工場」です。顔を洗う化粧石けんを「顔洗い」と呼んでいたことから、「カオ(顔)石鹼」と名付けたことが「花王」という社名の由来だそうです。シャンプーやボディークリーム、食器用洗剤等の製品の充填・梱包が行われている工場内は、完全にオートメーション化されていました。シャンプーのように消費者の肌に直接触れる製品は、ガラス張りの空間で扱われており、品質管理に細心の注意が払われていることを実感できました。また、工場の周囲には、空港、貨物列車専用線路、首都高速道路が見渡せ、原材料や商品の輸送が効率的に行われていることを学習しました。



午後は、カップヌードルミュージアムです。インスタントラーメンの創業者である安藤百福氏が、「チキンラーメン」や「カップヌードル」を開発した経緯を説明するアニメーションを視聴した後、みんなが楽しみにしていたマイカップヌードルファクトリー体験をしました。カップの図柄、スープの味、4種類の具材を迷いながら選び、世界にただ一つのカップヌードルを手にしたときは、全員とても嬉しそうな表情でした。



昨年度に引き続き、宿泊先は三浦半島のYMCA三浦ふれあいの村でした。宿舎では、学級委員は集会の司会、環境委員と体育委員はシーツの配布、図書委員と生活委員は食事準備など、担当した仕事を、責任感をもって果たしていました。

初日の夜は、キャンドルファイヤー。環境委員と体育委員が企画、進行をしました。神秘的な「火の神」の登場にざわめきつつ、キャンドルの灯りの神聖な雰囲気を感じながら合唱をしました。その後は一転してダンス、バクダンゲームと盛り上がり、一同、笑い疲れていました。



【2日目】

雲一つない晴天の下、6時40分という早い時間にもかかわらず、皆がニコニコと集合。今回の移動教室の目玉企画の一つ、三崎魚市場のマグロの朝食が待っているからです。三崎食堂にはすでに「三崎マグロ丼」「三崎マグロ定食」が並んでおり、到着後すぐに朝食となりました。「とろける!」「うまい!」「うおっ!!」と口々に感動を表現しながら新鮮なマグロをいただきました。白身魚「シーラ」の揚げ物もたいへん美味しく大人気でした。



朝食後は、いよいよ三崎魚市場の見学です。一本50キロ(大きいものは100キロ以上!)の



マグロがずらりと並んだ様子に、再び驚きの声が上がりました。三浦市観光協会ボランティアの方が、入札方法や、仲買人さんがマグロの品質を見分けている様子について解説してくださいました。マグロ船は、長いときは1年半もの間、世界中の海へマグロを追って出漁していること、マイナス60度で急速凍結すること、そうすると何年も獲れたての鮮度が保持できることなど、初めて学ぶことの連続でした。

次に向かった先は、長井海の手公園ソレイユの丘です。広々とした園内で早速、野外調理のカレー作りを行いました。火おこし、飯ごう炊さん、カレーの3つの担当に分かれ、昼食づくりを進めました。野外調理の要である火おこしの担当生徒は、額に汗してうちわで風を送りながら、火力を上げてくれました。ご飯も絶妙な加減で焦げることもなく炊け、美味しいカレーをおなか一杯食べることができました。

午後は、引き続き、ソレイユの丘で農業体験をしました。まずはサツマイモの収穫体験です。皆、真剣な表情で、イモを傷つけないように掘り進めていました。御家庭ではどのように召し上がっていただけましたでしょうか。楽しいイモ掘りだけで終わらないのが職能開発科です。このような収穫の喜びを味わうために、農業に携わる方々がどのような苦労を重ねていらっしゃるかを知るべく、ラッキョウ畑の草むしりをさせていただきました。短い時間でしたが、足の痛みや疲れを感じる生徒も少なくなく、農業従事者の方々への感謝の感想が聞かれました。



宿舎に戻った後は、レクリエーションの村内ウォークラリーです。ふれあいの村の敷地内を、地図を見ながらグループで回りました。途中、得点獲得のための「アイテム」を探しながら、グループで力を合わせて歩きました。林を抜けて、展望台から眼下に広がる海を見たときは、皆、清々しい表情をしていました。



夜は、星空観察を行いました。ふれあいの村の職員の方から星空の説明を受け、運動場へ。懐中電灯なしには歩けないほどの暗闇自体、日頃はなかなか経験できません。そして、頭上に輝く「夏の大三角形」、海面に揺らぐ月影など、三浦の自然を満喫できた一日の締めくくりとなりました。

【3日目】

3日目は鎌倉へ移動し、5人1グループのグループ散策を行いました。鎌倉駅をスタートし、大仏殿高徳院がゴールです。しかし、ただ歩くではありません。「①10問のクイズに回答する」「②要所、要所で写真を撮る」「③『働くプロフェッショナル』を探す」という3つのミッションにメンバーが力を合わせて臨みました。途中で昼食をとったり、お土産を買ったりと楽しい時間を過ごせたことと思います。



以上、天候にも恵まれ、大変充実した2泊3日の移動教室となりました。ハードスケジュールにもかかわらず、時間や体調の自己管理を心がけて、3日間を元気に過ごした生徒たちは、たくましくなったように感じました。薬や荷物の準備を初め、様々な御協力をいただきました保護者の皆様にも心より御礼申し上げます。